

「防災塾・だるま」 令和7年度 通常総会・基調講演

人的ネットワークによる防災まちづくりを提案



第204回 防災まちづくり談義の会 「防災の」限界と可能性 ～取材の現場から～

2025年5月15日(木)

- ① 通常総会 13:30~15:00 (議案書提案・意見交換)
- ② 防災まちづくり談義の会 15:30~17:00 (基調講演・質疑応答)

会場: 横浜市青少年育成センター第一研修室他 (関内ホール 地下2階)

住所: 〒 横浜市中区住吉町4-42-1

講師紹介

神奈川新聞社報道部長兼論説委員 渡辺 渉 氏

減災新聞 | カナロコ by 神奈川新聞 ([https://www.kanaloco.jp > tag](https://www.kanaloco.jp/tag/))



講演要旨 神奈川県内を中心に災害の現場、防災・減災に関する取り組みを取材してきたが、「防災」には限界があると感じざるを得ない。それでもなお、備えの意識と実践を広め、その時に被害を減らすことができるかが問われている。「日常の意識」は難しく、「頭の片隅」に置くことができるか。一つのヒントを提示した関東大震災100年の節目とその後の模索から、課題とともに今後の可能性を皆さんと一緒に探りたい。

講演会趣旨 防災塾・だるまは2006年の創設以来、幾多の災害に向き合いながら、地域の防災文化の醸成に取り組んでまいりました。神奈川新聞の渡辺渉記者におかれましては、この間、神奈川県内の災害や防災の最前線に立ち会い、常に人々の声に耳を傾けながら、優れた報道を通して防災意識の普及・向上に大きく寄与されてきました。このたびの講演では、新聞記者としての視点から「21世紀四半世紀の社会・災害・防災の変遷」を振り返り、そこから未来の防災への展望を語っていただければと願っております。

主催「防災塾・だるま」(ホームページ) <http://darumajin.sakura.ne.jp>

対象 本会会員・一般 受講料無料

参加方法 会員 現地または Zoom 参加 (会員 ML にて設定を配信) 会員以外の方は下記のリンクから、会場参加・リモート参加の選択をし、参加申し込みをお願いします
折り返し Zoom 設定の案内をお送りします (資料の内容は、HP でほぼ参照できます)



申込フォーム

「防災塾・だるま」第202回 防災まちづくり談義の会 Google フォーム
Google フォームで参加希望 docs.google.com

青少年育成センター
アクセス QR コード

次回: 第205回「防災まちづくり談義の会」

日時: 2025年7月 10 日(木) 15時~

テーマ: 「地域防災拠点開設のポイント」

講師: 和泉 禮子氏 横浜市立希望が丘小学校地域防災拠点運営委員会委員長

会場: 県民サポートセンター11 階コミュニティカレッジ講義室